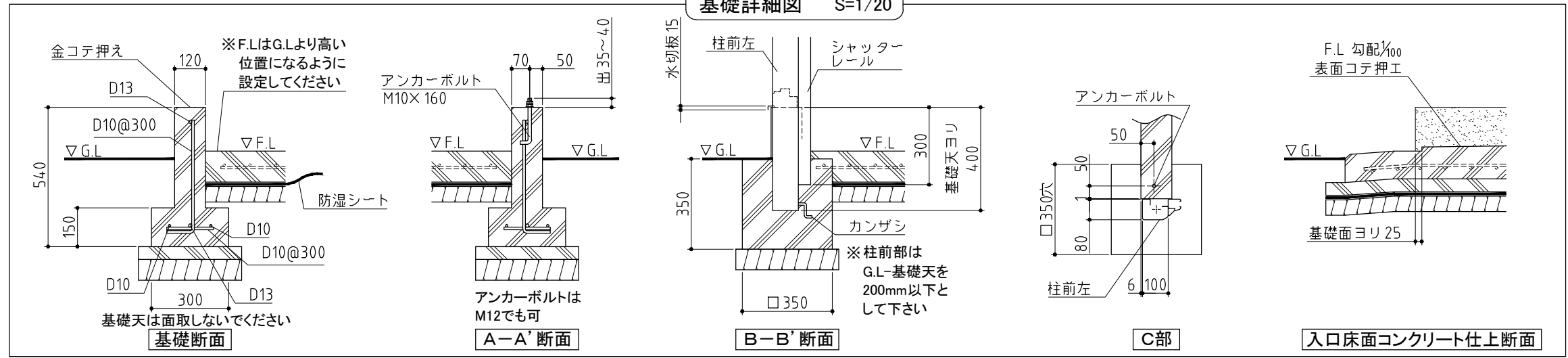


柱埋込用穴（深サ：400mm以上）
組立後現場打コンクリート

⚠注意
アンカーボルトは布基礎芯ではありません。

×・・・アンカーボルト位置を示す。

基礎詳細図 S=1/20



基礎図

〈縮尺〉S=1/50
～一般型・豪雪型～

機種名 GRN-2662S・H・J

※寒冷地等は、地域の実情に合わせた基礎にしてください。

基礎図参考資料

GRNタイプ3162連棟の場合

※下記寸法はGRN-3162S・H・JL-3連棟の寸法です。施工の際は必ず対象機種の基礎図寸法に則して下さい。

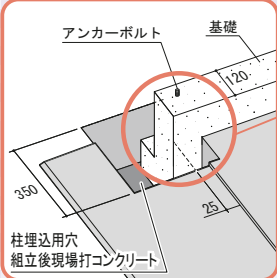


アンカーは柱芯ではありません

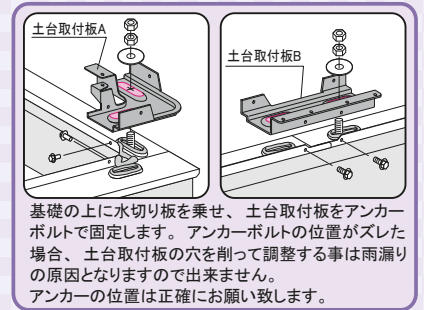
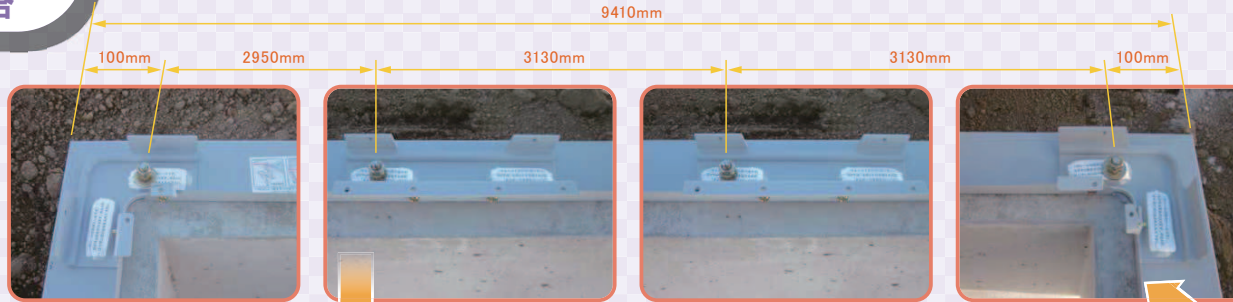


基礎天端は慎重に

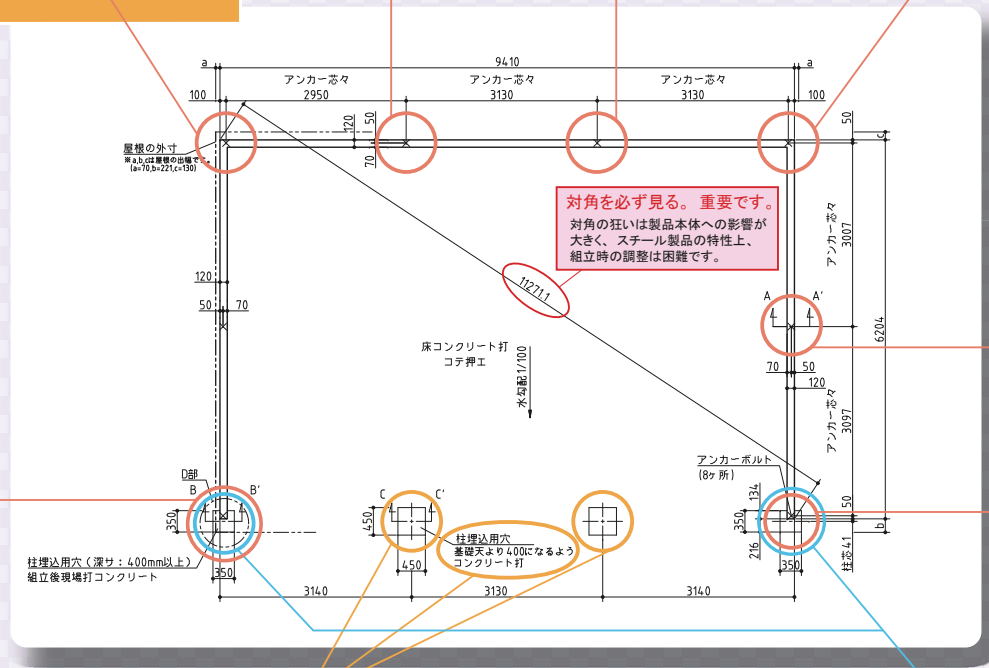
土台を設置する基礎天端は、水平でフラットになるように特に気を付けて仕上げてください。隙間が出来たり、建物がゆがんだりしてしまいます。



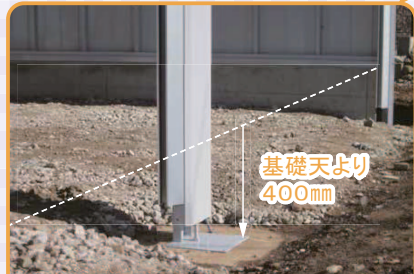
水切り板が外側に落ちるので、基礎の外寸法が重要です。



アンカーは基礎芯ではありません



対角を必ず見る。重要です。
対角の狂いは製品本体への影響が大きく、スチール製品の特性上、組立時の調整は困難です。



基礎天より400mmになるよう打設をお願い致します。(高基礎仕様は基礎天より700mm) ※製品荷重が中柱に掛ります。



アジャスターで多少の高さ調整が出来ます。調整範囲は374~414mmです。



前柱とシャッターレールは地中に埋め込みます。

※アンカーボルト(ワッシャー1枚、ナット2個含む)は先行出荷が可能です。ご希望の際はお問い合わせください。



アンカーボルトはM10×160です。M12(市販品)も使用出来ますが、クリアランスに余裕が無い為、より本体施工精度が求められます(M12アンカーボルトをご使用の際は、ワッシャー(1枚)とナット(2個)もご用意ください。)